

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表

事業所名	シャローム保育園		
報告書作成日	2011年9月30日	(評価に要した期間	4か月)
評価機関	NPO法人 中小企業再生支援		

評価方法

自己評価方法 (実施期間: 23年6月19日～23年7月23日)	職員が4グループにわかれ各担当領域を決め、各グループがレビューしたあと、園長が再レビューを行いました。
評価調査員による評価方法 (実施日: 23年8月3日、8月30日)	ヒアリングは園長、事務長、主任保育士、常勤及び非常勤保育士、栄養士を対象に行い、同時に書類調査で確認を行いました。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間: 23年6月29日～23年7月19日)	園より無記名アンケート実施の趣意書をいれた封筒を保護者へ手渡し、2週間後に、回収箱に投函してもらい、当社が回収しました。
利用者本人調査方法 (実施日: 23年8月3日、30日)	園庭での遊び、プール遊び、昼食時、昼寝時など各シーンをランダムに観察しました。真夏のため散歩は中止されていました。

評価結果についての講評

【施設の特徴】

シャローム保育園は東急田園都市線、横浜市営地下鉄「あざみ野駅」の北方向、徒歩15分ほどの、バスの便もよい、周辺に緑の濃い、閑静な住宅地に立地し、キリスト教プロテスタント系の歴史ある私立保育園です。『自分を愛し、他人を愛し、健康でのびのびと』を理念とする保育方針で設立35年になります。緑溢れる園庭、屋上のトレーニング用プールで卒園までに泳げることを目標にし、サマーキャンプなど自然とのふれあいを重視し、健康でのびのびとをモットーに、自由な雰囲気があります。

【施設の優れているところ】

1. 層の厚い保護者会の充実した保育園支援と自主的活動

後援会が全卒園者、在園者の横断組織としてつくられていて、年4回開かれる「運営委員会」に園長が加わることにより、園と保護者が一体化して運営されています。

各クラスの保護者2名づつが参加する「クラス委員会」は茶話会、お別れ会を開催し、最も主要な園の文化行事である「シャロームフェスティバル」は「フェスティバル委員会」で自主企画運営され、その他、広報誌「ぼかぼか便り」を年4回発行する「広報委員会」や、卒園者とその保護者による同窓会組織「シャロームタイズ」もあり、保護者の組織としては、その結束は他に類を見ません。

2. 自然とのふれあい、遊びを通じての人間関係形成・構築

園ホームページの園長一言でもあるように、遊びのルールを十分教えた上での自由な遊びを通じて、子ども自ら危険を悟ることが出来るような保育を目指しており、園庭ではだんご虫を見つけて丸めて遊んだり、虫とり網を振り回して蝉を追いかけたり、都会では難しくなった身近な自然との触れ合いを、子どもたちは日々体験しています。毎年6月になると、園名物の「どろんこ遊び」が始まります。園庭に作ったに水たまりで、水着に着替えた子どもたちは無心になって泥んこ遊びを堪能します。時間をずらしながら全クラスが参加する「どろんこ大会」では、水・砂・泥の感触を体験しながら全身で泥遊びを楽しんでいます。

3 . クッキング保育、給食、家庭のお弁当など、食に対して注ぐ園の情熱

5月に2歳児がイチゴを買いに行き、3歳児が洗い、4歳児がヘタを取り5歳児が調理してジャムを作ります。各クラスが連携して出来たジャムで開くサンドイッチパーティーは楽しく好評です。

保護者に試食の機会を設け、栄養士が食品添加物や食中毒・食事マナーなど園の食事内容について情報提供する給食参観日を年に3回実施しています。月に一度「お弁当の日」を設けています。それぞれの家庭の「お母さんの味」や「愛情」の詰まったお弁当を持って公園に出かけ遠足気分を楽しんだりしています。

【工夫が期待されるところ】

1 . 人材育成プログラムの体系化

・園長は一般企業において管理職を含め30年の実務経験があります。この経験を活かし職員の入職年数などに応じた期待水準や役割などを明文化し、人材育成計画立案など人材育成の体系化が望まれます。

・人材育成を効果的に進めるために、年度ごとに各職員の年間目標を設定し進捗状況把握や年度末の達成評価を行うため、年に複数回の園長による職員面談を希望します。

2 . 保育園の専門性を活かした子育て相談機能の充実

育児相談は地域子育て支援事業「ぼかぼかたいむ」を開催した際に随時実施していますが、相談日を定期的に設けて、積極的に相談を受けられるような体制の整備や、培ってきた専門性を積極的に地域に情報発信することが望まれます。

3 . 震災に対する今一步の配慮を



今回の震災において、被害が皆無であったことは評価出来ませんが、今後のために、今一步のロッカー上の重量物の整理など、進めて頂くことを望みます。

評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none">・当園は『いつも喜んでいなさい、絶えず祈りなさい、すべてのことに感謝しなさい』を法人理念とするキリスト教プロテスタント系の保育園です。自分を大切にすること、他者を愛することも、健康でのびのび育つことも等の保育方針が発達過程に応じて貫かれています。・これら理念、基本方針は「入園準備説明会」「入園説明会」「ホームページ」でも繰り返し周知されています。・保育士は全員クリスチャンです。・朝の礼拝、昼食時の御言葉の唱和など保育方針にそった教育がされています。・家族アンケートでは保育理念、方針について95%が「知っている」と高い周知率を示しています。・当園では子どもの発達領域の根源に霊があり指導計画はその上にあることを職員全員は共通認識としてもっています。・保育課程は各年齢ごとに「神様を愛する子ども」、「自分を大切にすること」、「他者を愛する子ども」、「健康でのびのびする子ども」などねらいを掲げ、発達過程に応じて具体的な目標をたてています。1月からクラス担任と副担任、主任が年齢別のチームに分かれ、原案を作成し、3月の園長主催の職員会議で討議されて決定されました。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none">・入園前にすべての保護者と子どもについて面接を行っています。生育歴や家庭での状況をヒヤリングして、担任も共有しています。・児童票は、子どもに関係するプライバシー項目が多く含まれていて、鍵のかかるロッカーに保存されていますが、担任は自由に見ることができます。親の状況、遊び、生活習慣、健康状況、など6月の個人面接の前に提出をうけて、面接にて内容を確認しています。・私的契約児制度を年中児、年長児に限定して設け、キリスト教保育を特に希望する方、保育実施保留となった方については、特別に有料で入園が出来る人員枠を持っていますが、現在は適用者はおりません。・年間指導計画はクラス担任 副担任 主任保育士の3人が作成し、園長も参加することがあります。・連絡帳をフルに活用して毎月の振り返りを行い、適宜に評価、訂正を行いながら、その結果も連絡帳を使い、登園した際に保護者へも伝えていきます。・月指導計画でも反映され、次月への目標が、詳しく書かれています。・ならし保育は新園児のみが対象で一週間おこないます。・日本的文化の「七夕」「七五三」「鯉のぼり」の行事はありません。偶像崇拝をしないためです。

- 3 快適な施設環境の確保



- ・1階・2階にシャワーの設備があり、屋上には大きなプールがあります。全部屋に床暖房が設備され、1階では電気、2階ではスチームで暖房をしています。クーラー・扇風機も設備しています。
- ・廊下、トイレはパート職員が当番制で掃除をしています。「誰かが誰かを補う」というキリスト精神で突然の交代もスムーズに行われています。
- ・夏は窓を開け、30度以上にならないとクーラーは使いません。園庭に茂る常緑樹が強い日光をさえぎり、ひんやりとした風が開け放たれた教室を通り抜け、自然の恵みを受けています。
- ・各クラスとも日当たりがよく、窓にはさえぎるものが何もありません。
- ・園庭の半分は常緑樹と落葉樹が覆い、夏は日陰となり涼しく、その下で子ども達が遊んでいます。
- ・1歳児・2歳児は各2部屋、3歳児以上は1部屋しかありませんが、コーナースペースを上手に使っています。
- ・食べる、寝る、のは同じ部屋の中で行われますが、食事の後はフロアシートを敷いて午睡をとります。
- ・2階の大ホールが年齢を問わずに、遊び場として使われており、遊び道具も置かれています。

- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力




- ・入園して6月に行う個人面談では、事前に聞きたい内容を書いた用紙を配布して、当日持参してもらっています。効率的に短時間で必要な情報が得られる仕組みです。そこで得られた情報は児童票に漏れなく記録し、ファイルされます。内容は全職員が共有しており、個別の状況を詳しく把握しています。
- ・連絡帳を十分に活用し、子どもの一人ひとりの1日の出来事を記入してゆき、必要なときにはいつでも全員が読めるようにしてあります。
- ・子どもの成長記録をつづった児童票は鍵のあるロッカーに保管して、鍵はいつでも使えるようにぶら下げてあります。
- ・子ども一人ひとりの様子、配慮、援助の方法を記入した月間指導計画が作成されており、これにより一人ひとりの個別配慮を行っています。
- ・個別に特に配慮の必要な子どもには医者が発行する与薬依頼書などをもらっています。


- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・個人別の月間障害児指導計画を作成し『食事』『排泄』『着脱』『ことば』『運動』『集団行動』など10項目にわたる行動分析と目標が詳細に記入されています。また前月の振り返り、評価、計画が立てられています。
- ・保護者へはその日関わった保育士が様子を連絡帳で詳しく伝え、家庭からも家での出来事を詳しく書いてもらっています。その情報は月1回の職員会議、クラス会議で話し合われて全員で共有されています。
- ・療育センターから、夏の訓練などアドバイスを受けています。
- ・園は原則として好き嫌いなく食べるよう指導していますが、しかし、アレルギー体質の子どもは、除去食申請を基に栄養士が個々の対応を行っています。除去食対応園児のリストに対象食品名、代替食品、症状、対応方法、医者の連絡先などがあります。
- ・帰国子女の受け入れ実績はありません。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="223 174 478 206">- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園準備説明会では、苦情申出について詳細な説明が8ページに及ぶ資料を基になされています。 ・意見箱を玄関に設置し、投書があった段階で、「苦情申出窓口」システムに沿って、受付、責任者、第三者委員へ、自動的に処理されます。受付、解決責任者、第三者委員の名前、電話番号、公的解決機関が明記されています。 ・申出から解決までのプロセスを、各段階での取り扱い方法がフローチャートで詳しく書かれています。 ・苦情申出人が希望すれば、第三者委員の立会いを要求できます。第三者委員の段階で解決に至らなければ、神奈川県福祉サービス適正化委員会へあげられます。意見表明の難しい人には、保護者会で代わりに意見を出してもらうこともできます。結果の報告は責任者である園長が文書、又は口頭で行う仕組みです。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="223 813 502 844">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳児クラスには、つかまり立ちができる滑り台つき3段ジムや天井から吊り下げたモビールなどがあります。牛乳パックで作った大きなクッションブロックから年齢が高くなるに従って小さく複雑な形のブロックを準備するなど、年齢や発達に配慮しています。園庭には砂場、ジャングルジム、アスレチック遊具、タイヤ、うんてい、ブランコなどがあり、危険のないようクラスごとに時間をずらしながら年齢に応じた遊びを楽しんでいます。 ・各クラスには畳やマットを敷いた絵本コーナーがあります。5歳児クラスには、お絵かきなどの製作活動コーナー、キーボードがあるパソコンコーナー、おままごとコーナーなどがあり、子どもがお気に入りのコーナーで落ち着いて遊べるよう配慮しています。 ・クワガタやカブトムシ、園庭で捕った蝉を飼育し観察しています。園庭でグループ栽培したミニトマト、なす、ラデッシュなどの様子を共同で「なつやさいばたけ」の絵画にして展示しています。 ・園バスで農村風景が残る「寺家ふるさと村」へお弁当を持って出かけます。クッキング活動に使う材料を近くの商店まで買物に行きます。おじいちゃん、おばあちゃんへの手紙が敬老の日が届くように郵便ポストに投函に行くなど地域を知る機会を設けています。 ・専門講師による3歳児からのリトミック、4・5歳児対象の絵画教室と英会話、5歳児へのピアノなどのカリキュラム保育を通し、年齢に応じて自由に表現できるよう配慮しています。 ・子ども同士のトラブルの際、1・2歳児は手が先に出るので先ず危険のないよう間に入って止めてから話を聞いています。3歳児はお互いの気持ちを代弁して伝え仲介しています。4・5歳児は子ども同士で解決できるよう見守りながら援助しています。 ・子どもたちは自然に囲まれた園庭や隣接する公園で毎日

遊んでいます。夏は全クラスが積極的にプール遊びを取り入れています。陽気の良い季節には散歩にて出かけるなど様々な屋外活動を行い運動能力を高めています。

<工夫している事項>

・園庭は樹木が茂り、様々な昆虫に出会えます。だんご虫を見つけて丸めて遊んだり、虫とり網を振り回して蝉を追いかけたり、都会では難しくなった身近な自然との触れ合いを、子どもたちは日々体験しています。

・6月になると、どろんこ遊びが始まります。園庭に作った水たまりで、水着に着替えた子どもたちは無心になって泥んこ遊びを堪能します。時間をずらしながら全クラスが参加する「どろんこ大会」では、水・砂・泥の感触を楽しみ全身で泥遊びを楽しんでいます。

・2月中に5日間かけた「お店やさんごっこ」が開かれます。各クラスがそれぞれ売り出す商品を作ってお店屋さんを順番に担当します。他のクラスはお客さんになって買物を楽しみます。異年齢の子ども同士が楽しく関わりながら交流する機会となっています。

- 1 保育内容[生活]



・給食の食べる量は子どもが自分で調節し、食べ終わった食器は配膳台に片付けます。

・5月に2歳児がイチゴを買いに行き3歳児が洗い4歳児がヘタを取り5歳児が調理してジャムを作ります。各クラスが連携して出来たジャムで開くサンドイッチパーティーは楽しく好評です。

・個々に持参したランチョンマットを敷き、グループごとに保育士と一緒に座り共に会話しながら和やかな雰囲気の中で食事をし、子どもの好みを把握し、栄養士と連携して献立や調理に反映させています。

・給食の食器は高強度磁器、おやつ用にはアルミ製容器で1・2歳児用と3・4・5歳児用の大きさの異なる食器を使用しています。食材の殆どを様々な食の安全に取り組んでいる生活クラブ連合会から調達して安全性に配慮しています。

・眠れない子どもや眠くない子どもは、ホールで静かに過ごしています。5歳児は4月から午睡を行いませんがプール活動を行う時期は柔軟に対応しています。

・1歳児クラスでは10月まで、15分おきに呼吸チェックを行っています。

・トイレトレーニングは基本的には2歳6カ月から始めますが、個人差を尊重しながら保護者と連携してゆっくり進めています。1歳児はプール活動で水着に着替える前に部屋にある「おまる」に座り、トイレの感覚に慣れる体験をしています。失敗した時は子どもの心を傷つける対応のないようクラス会議で確認合っています。

・園と家庭での排泄状況をそれぞれ連絡帳に記載して、連絡を密にしています。

<工夫している事項>

・保護者に試食の機会を設け、栄養士が食品添加物や食中毒・食事マナーなど園の食事内容について情報提供する給食参観日を年に3回実施しています。

・月に一度「お弁当の日」を設けています。それぞれの家庭の「お母さんの味」や「愛情」の詰まったお弁当を持って公園に出かけ遠足気分を楽しんだりしています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・嘱託医と協力してまとめた健康管理マニュアルがあります。医療機関一覧を作成して緊急時に備え、子どもの健康管理を行っています。
- ・入園前の既往症や予防接種、入園後に受けた予防接種や病歴、内科検診・歯科健診、毎月の身長体重測定の結果は個々の児童票に記録し対応を関係する職員が周知しています。
- ・健康診断・歯科健診の結果は、その日のうちに書面で保護者に伝えて連携しています。
- ・子どもの健康状態は必要に応じて連絡帳で伝え、送迎時に口頭で保護者と連携を図っています。
- ・2歳児から歯磨き指導を行い、2・3歳児には担任が仕上げ磨きをしています。
- ・感染症対応マニュアルを作成し、「医師の意見書が必要な感染症」と「保護者記入の登園届が必要な感染症」の病名・感染しやすい期間・登園のめやすを「入園準備説明会資料」に記載して保護者に周知しています。
- ・保育中に感染症が疑われた場合には保護者に電話連絡しています。保護者の事情に応じて、子どもの様子を見守りながら職員室内の簡易ベッドに休ませています。
- ・感染症が発生した時は速やかに保護者個々にメール発信して報せています。クラスの掲示板や園の外壁掲示板にも貼りだして情報提供しています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- ・給食衛生・食中毒・感染症に関するマニュアルを作成し毎年見直しを行っています。
- ・年度末の職員会議でマニュアル類の確認を行い共有しています。
- ・清掃係分担表を作成して担当者が清掃を行い清潔な状態が保たれています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- ・危機管理マニュアル・事故防止マニュアル・保健マニュアルがあります。マニュアル類は職員に配付し、毎年3月に研修を行い職員に周知しています。
 - ・職員間の緊急連絡網・災害時の役割分担表を作成し職員に配付して周知しています。
 - ・毎月、避難訓練を実施し実施状況を記録しています。2月には消防署立会で訓練を実施し隣接の西公園に避難しました。
 - ・職員2名が救急救命研修に参加して救命法を学んでいます。職員会議で救命法を共有しています。
 - ・小さなケガも含め保護者には連絡帳と口頭で報告しています。通院につながったケガは事故報告書に事故の発生状況や処置を記録し、クラス会議で再発防止策を検討し改善点を記載しています。
 - ・玄関はキー操作によるオートロックを使用して不審者の侵入を防止しています。
 - ・警備会社のセキュリティシステムを導入し、不審者侵入の際は直接緊急通報できる体制が確立しています。
 - ・「防犯青葉」に登録し、不審者の情報が青葉警察からメール配信されます。地域を守るための団体「さくら会」の活動を通して防犯情報を得ています。
- <コメント・提言>
- ・家具の多くは固定式となっていますが、備品の転倒や落下防止への見直しが望まれます。

- 3 人権の尊重



・職員が外部の保育研修に参加して子どもへの適切な対応を学んでいます。「キリスト教保育について」に子どもの心に寄り添う・子どもを深く理解することなどが明記され、職員はおだやかにわかりやすい言葉で子どもと接しています。不適切な対応がなかったかクラス会議や職員会議で確認しあい、問題があれば、主任や園長が本人に確認し注意を促しています。

・遊戯室（ホール）や園長室など必要に応じてプライバシーに配慮しながら、子どもと一対一で話し合いをすることができます。

・個人情報の利用目的や管理、個人情報相談窓口などを記載した個人情報保護方針を「入園準備説明会資料」に記載して配付し、職員・保護者に周知しています。個人情報に関する書類は職員室に施錠保管しています。

・顔写真などの掲載について保護者に確認し毎年同意書ももらっています。

・外部研修「児童虐待・子どもの権利」に職員が参加し、虐待の定義や講義内容を職員会議で職員が共有しています。

・過去に児童相談所と連携して支援した経緯があり、疑わしい場合や明白になった場合に関係機関と連携する体制があります。職員が「家族援助論」研修に参加して家庭支援を学び、送迎時の親子関係を見守りながら虐待の予防に配慮しています。

・名簿はアイウエオ順など日常的な生活や遊びの中で、固定観念による性別の区別をしている場面は見受けられませんでした。

<コメント・提言>

・無意識に性差による固定的観念で保育を行ってはいませんが、性差について職員が話し合い共通認識を持てるような取り組みが望まれます。

- 4 保護者との交流・連携



・入園説明会は出願前の10月と入園前の3月に開かれ、丁寧な説明があります。説明書には「月1回の保護者の礼拝」とありますが、現実には希望者のみ参加となっています。

・個別面談 年1回個人面談表を作成して保護者から意見をきいています。

・毎月「園便り」を配布し、保護者会年3回、後援会運営委員会年4回、給食参観年3回、保育参観は自由、と保護者との交流は盛んです。それは後援会組織が強固なためです。


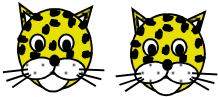
・保護者と園長の参加により年4回開かれる「運営委員会」が機能し、「クラス委員会」で茶話会、お別れ会を開催するほか、「ぼかぼか便り」を発行する「広報委員会」、最も主要な行事である文化的行事「シャロームフェスティバル」の企画運営をする「フェスティバル委員会」などが、保護者を巻き込んで活発です。

・卒園者と保護者による同窓会組織「シャロームタイズ」もあり保護者の組織連帯では抜きんでいます。




・年間行事予定表は 年初の説明会で資料として保護者へ配布されています。

・保護者同伴のイベントとして、こどもの国遠足、クリスマス会など行われています。


・園からの情報提供は保護者の89%がほぼ「満足」しています。


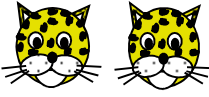
評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="188 174 686 235">- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する西公園を使用しての毎年の運動会には、地域住民に対してポスターなどで参加を呼び掛けています。また保護者が自主的にシャロームフェスティバルなどを企画し、地域の人々の参加を呼び掛け、積極的に地域との関係を深めています。 ・ぽかぽかタイムという行事で、地域の親子を園に招き、半日をかけて園の先生と地域親子の教室を開き、その際に地域ニーズの把握に努めていると同時に、地域親子同士を結びつける役割を果たしています。 ・園長は青葉区園長会議や研修会などで他園と交流し、保育に関する情報を入手し、問題点を洗い出し対応しています。 ・職員会議では、園行事や懇談会の際得られた地域子育てニーズを整理し、話し合い、次年度の保育課程作成に活かしています。
<p data-bbox="188 667 686 728">- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに詳細な園情報を掲載し、見学者や入園問い合わせの保護者には、園内容を詳細に説明した、“入園説明会資料”を配付しています。 ・地域の掲示板などには運動会や園行事について、地域親子の参加を呼び掛けるポスターなどを貼りだしています。 ・必要な関係機関・地域の団体などの連絡先はファイル化されており、各職員にはコピーが配付されています。 ・関係機関との窓口は、それぞれの児童相談所、学校、役所関係は園長が、消防、警察関係は事務長が、療育センターは主任がこれを担当しています。 <p data-bbox="702 974 933 1003"><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談は随時実施し、相談者に対し十分な情報提供が求められますが、相談日を定期的に設け、相談を受けられるような体制整備も望まれます。

評価領域 開かれた運営



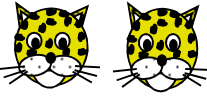
評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園と保護者会はシャロームフェスティバル、運動会などで地域親子への参加を呼び掛けています。 ・園は保育園の隣に位置する“あざみ野西公園”のランド管理を青葉区より委託され、地域の関係諸団体と連携しています。地域への設備開放に関しては、ランド管理に關係する団体の調整会議に園の部屋を提供したりして、地域に貢献しています。 ・園は地域学校との連携に努めており、年長クラスの小学校訪問や、小学校教員の研修などを受け入れています。 ・近隣の社会資源の利用に関しては、あざみ野西公園での散歩、運動会利用や、寺家ふるさと村での弁当持参ピクニック、山内図書館では絵本の貸し出しなどを受けています。 ・クッキング保育での食材調達に子ども、職員ともども、地元の商店に買出しに出掛けています。 ・青葉区や横浜市が主催する研修会には職員を積極的に受講させ、他園の先生同士、情報交換の場を得ています。 ・青葉区冒険遊び場づくりの会が主催する、“プレイパークであそぼう！”の園内告知にも積極的に協力しています。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学者や入園問い合わせ者には、詳細な園情報を掲載した“入園説明会資料”と題するパンフレットを配付しています。パンフレットには、園の基本理念、保育内容、職員体制、保育・諸費用などを掲載しています。問い合わせに関しては、園長、事務長、主任で随時対応しています。 ・青葉区の広報紙、園のホームページなどで見学の案内をしています。見学は基本的には保護者の方と相談の上、取り進めています。
<p>- 3 実習・ボランティアの受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習・ボランティアの受け入れに当たり、園長は受け入れの意義、注意事項を職員会議で全職員に徹底しています。 ・実習生・ボランティア受け入れ、育成の担当は、園長と主任がこれに当たります。 ・近隣高校からの体験学習などに関しては、日々はクラス担当がボランティアの意見を聴取し、最終日は主任が総括としてこれに当たります。 ・実習生の最終日には、主任を含めた担当職員との意見交換の場を設け、内容は記録されています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="220 174 491 206">- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材に不足を生じた場合は、協力教会に声をかけ、当保育園の資格に合致する保育士の紹介を受け、園長、主任保育士による面接の上採用しています。 ・現在、園では職員個人個人の年度目標管理、年間受講研修回数、スキルアップテーマについて、園長、主任により策定中です。 ・職員面接は年一回実施し、職員の現状での意見、転籍希望などを聴取しています。 ・職員、非常勤職員について、園内外の研修受講については、園長、主任の判断で進めている。受講後の職員は必ず、報告書の提出、報告会での説明が義務付けられています。 ・保育シフト作成は主任がこれに当たり、職員、非常勤職員の組み合わせは配慮して行っています。 ・非常勤職員の研修は、現場実地指導が主となるが、必要に応じて研修受講を園長、就任相談の上、実施しています。 <p data-bbox="699 685 938 716"><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入職年数に応じた職員の達成期待スキルなどを策定し、体系的な人材育成管理がなされることを期待します。 ・年ごとに各職員は年間目標を掲げ、目標設定の際と年度中間での進捗状況把握、年度末の達成評価など、年に複数回の園長による職員面談を希望します。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="220 1039 517 1070">- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議では、保護者意見の集約や討議の上、具体的対応策を打ち出し、実行に結び付けています。例として、全園児への主食の提供、送り迎え時の裏門の開閉などの保護者意見の具現化があります。 ・後援会メンバーには保育に関する有識者が複数在席しており、必要な都度、意見を伺うなど支援を受けています。
<p data-bbox="220 1263 655 1294">- 3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長、事務長、主任の三人間では不在時代行の権限移譲がなされており、一般職員については緊急事態発生に際しては、必ず、この三人の指示を仰ぐようにしています。幹部職員三人同時不在は無いように管理しています。 ・職員からの意見や不満などは、年一回の個人面談および月1～2回の職員会議にて園長が汲み上げています。 <p data-bbox="699 1451 938 1482"><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長は一般企業において管理職を含め、30年の実務経験があり、この経験を活かし、職員の入職年数などに応じた期待水準、役割などを明文化し、人材育成計画立案など、人材育成の体系化が望まれます。 ・職員面談回数は、職員個人個人の年間達成目標管理など合わせて、増やす方向で進められることを期待します。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教の宗教理念を基本として保育活動を行っており、倫理精神は職員に浸透しています。 ・社会福祉法人としての経営、運営情報は定期的に横浜市に報告され、全て公開され、報告内容は職員会議などで職員に説明しています。 ・園のエコ活動として、牛乳パック、記録紙の再利用など、廃材を利用した制作遊びなどを実践しています。また省エネ対策として冷房を極力抑え、扇風機の活用など節電努力を続けています。 ・環境への考え方は、保育課程の中に、神様が創られた世界を大切にすることをキリスト教の精神として、明文化しています。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・基本方針はキリスト教の教義をベースに明文化され職員に配付されています。 ・入職面接でシャロームが何を一番大事にしているかを説明し、入職後は職員会議の都度、園長一言スピーチで繰り返し説明しています。 ・年一度の個別面談では、職員との会話の中で職員の理解度を測っています。 ・0歳児保育の導入に関しては、保護者アンケートなどにより、是非について慎重に進めています。 ・職員会議では繰り返し議論を進め、保護者に対しては保護者会にて意見の集約を進めています。 ・主任育成プログラムは横浜市のリーダー育成研修をこれに当てており、現主任も当該プログラムの受講生です。 ・主任は各クラスに積極的に入ることにより、職員とのコミュニケーションのなかで各職員の状況を把握し、助言指導を行っています。 ・シフト作成に関して、主任は得られた情報、状況をもとに適正な計画を作成しています。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に関する情報は、園長が青葉区園長会議に定例的に出席し、得られた情報は、職員会議で発表し、議論し、職員全員に周知しています。 ・園長は真の保育の在り方を研究しており、抽象的概念を具体的な活動に置き換える3年計画を作成しています。 ・次世代保育に関しては、保護者会のメンバーの中の有識者との懇談機会を保っており、いろいろな意見を集約中です。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成に関しては、福祉法人幹部などとも常に話し合い、考え方を固めることが望まれます。